

## 台風19号の水害に関する農作物等の技術対策(第2報)

福島県農林水産部農業振興課

## 1 果 樹

- (1) 土砂の流入が5 cm未満で少ない場合は、根を切らない程度に地表面を軽く中耕しましょう。その際に堆肥や土壌改良資材を施用しましょう。
- (2) 土砂の流入が多い場合は、出来るだけ早く根の集中している株元半径2 m程度をスコップ等で土砂を取り除きましょう。また、土壌中の通気性、透水性を確保し根の活動を促すため、根を切らないように注意し、レーキ等で軽く土を起こしましょう。  
なお、園地内の土砂の撤去について、事業等の活用を検討している場合は、事前に市町村等に相談してください。
- (3) 枝や葉に付着した泥はできるだけ早く洗い落とし、薬剤散布を実施しましょう。使用する薬剤は以下を参考に各地域の防除暦に基づき実施しましょう。なお、追加防除となる場合は、各農薬(成分)の使用回数を超えないように注意してください。

表 薬剤散布する場合の使用農薬例

樹種	病害名	農薬名(希釈倍数・使用回数)
モモ	せん孔細菌病	ICボルドー412(30倍)または4-12式ボルドー液または ムッシュボルドーDF(500倍)またはコサイド3000(2,000倍)
ナシ	黒星病	オーソサイド水和剤80(600倍・9回)
リンゴ	斑点落葉病、 すす点病、 すす斑病等	アリエッティC水和剤(800倍・3回)
ブドウ	べと病	ICボルドー66D(50倍)または4-4式ボルドー液または コサイド3000(2,000倍)

※ムッシュボルドーDFまたはコサイド3000を使用する場合は、クレフノン100倍を加用する。

※農薬登録内容は平成31年版農作物病虫害防除指針に基づき記載。

- (4) 泥水に浸かった果実は、疫病等による腐敗果となりやすく、食品衛生上の観点から摘果しましょう。また、摘果した果実は適切に処分してください。
- (5) モモの樹冠が浸水した場合は、枝梢枯死など被害程度を良く観察し、以下の平成10年8月の水害の際の影響調査等に基づく対応の目安により、総合的に判断しましょう。
- ア 樹冠の80%以上が長時間浸水した場合、枝梢枯死率が高くなり、翌年の樹勢衰弱が著しく改植が必要となる。
- イ 枝梢枯死率が70~80%の場合、翌年の結果枝不足及び樹勢衰弱が著しいため改植が望ましい。
- ウ 枝梢枯死率が50%程度の場合、樹勢や樹齢を考慮して判断する。
- エ 浸水後の樹勢回復対策は、基肥はやや多めとし、翌春には追肥を行う。また、新梢の初期生育を確保するため、翌春の着果管理(摘蕾、摘花、予備摘果)を徹底する。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報(生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報)をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

